

挨拶：堀井奈津子（厚生労働省 雇用環境・均等局長）

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、厚生労働省雇用環境・均等局長の堀井奈津子と申します。

本日は、ここに、「労働者協同組合周知フォーラム」が開催されるということで、本日のこの会合の主催者を代表しまして、ご挨拶をさせていただきたいと思っております。そして、本日、このような形でこのフォーラムを開催するにあたりまして、大変多くの方々のご協力をいただいております。

まず、ご挨拶、そして、お取り組みの紹介をいただく皆様方といたしまして、大阪府の馬場部長、京丹後市長の中山市長、また、基調講演には東京大学の牧野教授、そして、第2部の事例紹介とパネルディスカッションにおきましては、現場で活躍をされておられる3団体の皆様方や、コーディネーターとして日本労働者協同組合連合会の高成田事務局長、そして、閉会のご挨拶ということで、ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパンの藤井代表にご参加いただくということになっております。

また、本日の開催にあたりましては、開催地の大阪府様をはじめといたしまして、京丹後市様、全国の都道府県の皆様方にこのフォーラムの周知広報等で多大なご協力をいただいております。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

さて、皆様、既にご存知のことをございますが、労働者が出資をし、その意見を反映して、自ら従事をするということを基本原理とする、労働者協同組合法が来月の10月1日に施行後1年を迎えるという状況でございます。

この労働者協同組合は、9月21日時点で計58法人設立されておりますが、その中には本当に様々な事業をされています。荒廃山林を整備したキャンプ場の整備や、葬祭業、家事代行、そして、廃棄を予定するはずだった地魚の惣菜化、要は、当初考えていたよりも幅広い、地域のニーズを生かした創意工夫による事業が、地域の皆様方のお気持ちで、実質的に色んな形で行われていると、そういう状況だと思っております。

そして、こうした動きの中で働き方や仕事内容を組合員が全員で話し合っ決めていくという、労働者協同組合の特色を活かして、多様な働き方が可能となる職場環境が整備されて、女性の方、高齢者の方、あるいは普通の企業だと働きづらさを抱えておられるような方々の就業機会の確保につながる取り組みもどんどん進んでいくという状況でございます。

私自身もこの夏に今のポストに異動してまいりましたが、短い期間ではございましたけれども、生協の戸別配達という活動をされておられるところに視察に行かせていただきました。

労働者協同組合の現場に初めてお伺いしたのですが、実際に組合員の方々が皆さん全員でお話をされて、事業の進め方などを決めていく。大事なことはみんな話していきます。そういったところを直に拝見させていただいたことで、「ああ、なるほど」と、かなり今日的なニーズにマッチした、これから非常に可能性を秘めた事業であると感じたところでございます。

厚生労働行政の立場から申し上げます、やはり労働者協同組合は、地域におけるお1人お1人の希望に応じて選ぶことができる新しい働き方あるいは生き方である、その選択肢である、と言えるかと思えます。我が国において今後一層ますます求められる地域共生社会を支える不可欠の基盤になれるもの、と言ってもいいのかもしれない。

そして、そのためには、が、来月の10月1日で1年という節目を迎える労働者協同組合が労働法令をはじめとする関係法令をきちんと遵守しながら活動していくということが不可欠であると思っています。働く方々にとって自分らしくやりがいをもっていただきつつ、安全に、そして、安心して働ける、そういった新たな働き方ということで、社会に定着していけるようになっていただくことを心から期待しております。

そして、厚生労働省におきましては、昨年度から引き続き、特設サイト、電話相談窓口に加えて、今日開催しているのと同様にフォーラムを年に2回開催して、様々な周知広報に努めていきたいと考えております。本日は、今年度第1回目ということになるわけですが、大阪府内にとどまらずオンラインでも全国から多くの方々に参加いただいていると承知しています。

今回のフォーラムの開催を通じまして、より多くの方々に労働者協同組合の魅力とその可能性についての理解や共感を広げる機会としていただきたいと考えております。

今後も労働者協同組合の活用促進を通じまして、多様な働き方を実現しながら、それぞれの地域の課題の解決に携わる方々を増やすとともに、そのような方々の選択肢を増やしていく。厚生労働省としてもそういったことに全力で取り組みを進めていきたいと考えております。

最後になりましたが、労働者協同組合、今後とも力強くそして地域に根ざした温かい取り

組みを進めていただくことを心より祈念いたしまして、主催者を代表してのご挨拶に代えさせていただきます。

本日はご参集、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。